

「研究機関/研究者」 中越技術支援センター 須貝 裕之 ◇片山 聡  
 「委託者」 ダイニチ工業株式会社

### ■目的

新型ファンヒータの前面パネル部品についてプレス成形シミュレーションを実施し、成形の可否および品質を確認した。

### ■研究内容

PAM-STAMPによるプレス成形シミュレーションにより、以下を評価する。

- 1 板厚減少率およびFLDによる成形可否
- 2 FLDによる成形品質

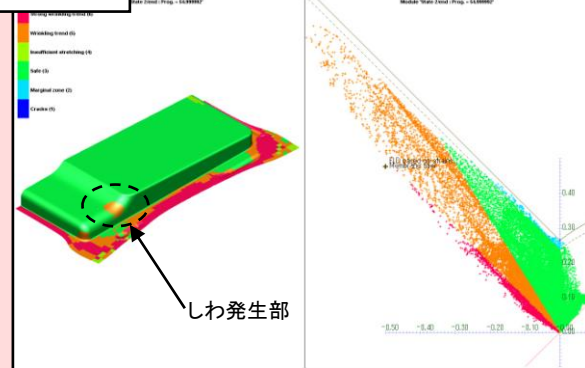
### ■研究成果

- 1 しわ抑え力の適正化により、成形可能となる条件を見出すことができた。
- 2 FLDを用いた成形品質評価により、しわ発生部位を特定し、ビード位置の適正化を図った。
- 3 プレス成形シミュレーションの活用により、製品開発期間を短縮することができた。

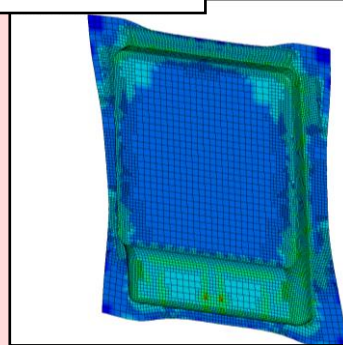
### ■成果の展開性

当該パネルを搭載した新型ファンヒータは製品化された。今後はさらなる成形品質の向上にプレス成形シミュレーションを活用する予定となっている。

### 成形品質の確認



### シミュレーション結果



### 製品化されたファンヒータ



写真提供: ダイニチ工業株式会社